

# 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

自動車整備		冊数	1冊
発行者の略称・教科書の番号	実教737		

## 2 学習指導要領における教科・科目の目標等

### 【工業の目標】

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 【自動車整備の目標】

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、自動車の性能の維持、快適で安全な走行及び環境汚染の防止に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自動車について法規と整備の目的を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 自動車の整備に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
- (3) 自動車の整備を行う力の向上を目指して自ら学び、自動車産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 【自動車整備の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(1) 自動車整備と関係法規 ア 自動車整備の目的と内容 イ 自動車整備に関する法規 ウ 自動車整備事業と自動車整備士 (2) 自動車用材料 ア 自動車用材料の加工 イ 自動車用材料のリサイクル ウ 自動車整備に伴う工作法と機器 (3) 自動車の整備と試験 ア 自動車用機関と関連装置の整備 イ 自動車シャシと関連装置の整備 ウ 環境保全と安全確保に関する装置の整備	ア 自動車整備と関係法規に着目するとともに、実習などを通して、具体的に理解できるよう工夫して指導すること。

## 3 教科書の調査研究

### (1) 内容

#### ア 調査研究の総括表

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第3章第2節第3款1(1)
b 車両の管理と整備業務を相互に関連付けて考察するための「自動車整備」に関する関係法規、材料の活用方法、整備及び試験	学習指導要領第3章第2節第2款第16 2
その他の項目（各教科共通）	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

## イ 調査項目の具体的な内容

### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
  - ・ 各単元において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫を見取る。
- b 車両の管理と整備業務を相互に関連付けて考察するための「自動車整備」に関する関係法規、材料の活用方法、整備及び試験
  - ・ 自動車整備を関係法規、材料の活用方法、整備及び試験の視点で捉え、車両の管理と整備業務を相互に関連付けた内容について見取る。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

### ② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
  - ・ 学習指導要領の中に、「実践的・体験的な学習活動を行うことなどを見通して、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成」が言及されているため、自動車整備では、各単元における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫がどのように設定されているかという視点で質的に調査する。
- b 車両の管理と整備業務を相互に関連付けて考察するための、「自動車整備」に関する関係法規、材料の活用方法、整備及び試験
  - ・ 学習指導要領の目標に「実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、自動車の性能の維持、快適で安全な走行及び環境汚染の防止に必要な資質・能力を育成することを目指す。」と示されているため、車両の管理と整備業務を相互に関連付けた「自動車整備」に関する関係法規、材料の活用方法、整備及び試験について扱っている項目・題材を質的に調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

### (2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	工業
科目名	自動車整備

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	実教
教科書番号	工業737◆
教科書名	自動車整備

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【自動車整備と関係法規】	・自動車整備に関する整備や法規について、章末問題に自ら考える課題が設定されており、題材の理解が深まるよう工夫されている。
【自動車用材料】	・自動車用の材料や加工について、章末問題として特にリサイクルの利点に関する課題が出題されており、自ら考える課題が設定されていることから、題材の理解が深まるよう工夫されている。
【自動車の整備と試験】	・自動車の整備と試験について、章末問題としてエンジンや動力伝達装置等の整備や試験に関する課題が出題されている。 ・巻末には主体的・対話的に学ぶための課題とワークが掲載されており、自らの考えを述べたり、グループで協議したりすることができる課題が設定され、題材の理解が深まるよう工夫されている。

b 車両の管理と整備業務を相互に関連付けて考察するための「自動車整備」に関する関係法規、材料の活用方法、整備及び試験	
【自動車整備と関係法規】	・自動車整備に関する整備や法規について、道路運送車両法などの関係法規を第1章で取り上げることで、概要を全体的に把握したうえで整備技術を学べるよう構成されている。
【自動車用材料】	・自動車用の材料や加工について、日用的な自動車用語を取り扱うなど、校内での学習と実社会とで齟齬のないよう、親しみをもてて馴染みやすく学べるよう構成されている。
【自動車の整備と試験】	・自動車の整備と試験について、自動車を構成する各装置の点検・分解・組立・調整の作業内容に関する基礎的な整備技術を習得できるよう、図や写真等を活用して構成されている。

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・「自動車の整備と関係法規」保安上の必要性（交通事故死の防止と自動車整備の重要性）
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	・見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。